

日本芝生産に配慮した植生工について

1 趣旨

日本芝のうち高麗芝は、北栄町、琴浦町、大山町を中心に生産され、長年の品質管理によって、繁殖力が強い西洋芝（バミューダグラス）が混入しない高品質の高麗芝を生産されているが、公共工事の植生材の多くにはバミューダグラスの種子が含まれているため、生産する耕作地に隣接する工事においてはバミューダグラスの種子を含まない植生材を使用するなど、日本芝生産への配慮を求められている。このため、日本芝の生産に配慮した植生工について以下により対応する。

2 適用範囲

この対応方針は、「日本芝生産に配慮した植生工について」（令和2年2月20日付生産振興課長依頼）の別紙に示される配慮が必要な範囲等に該当する工事に適用する。

なお、生産振興課依頼の別紙の2範囲に記載のとおり、事業計画説明会等において隣接するほ場の農家等の意向を確認のうえ、配慮する範囲を決定すること。

3 日本芝の生産に配慮した植生工の対応

配慮が必要な範囲に該当する法面工事において、バミューダグラスの芝、種子の使用を禁止し、工法毎に以下のとおり対応する。なお、工法選定にあたっては道路土工切土工・斜面安定工指針（公益社団法人日本道路協会）を参考に、現場条件、施工条件などを満足する工法から最も経済的な工法を選定すること。

(1) 張芝、筋芝工

- ・生育した芝を使用する張芝工、筋芝工については、隣接するほ場の品種を確認のうえ、現場説明書に日本芝（野芝又は高麗芝）の使用を明示し、バミューダグラスの使用を禁止する。

(2) 植生基材、客土等の吹付工

- ・使用する種子の配合が変更可能な植生基材等吹付工については、現場説明書に種子の配合にバミューダグラスを使用しないことを明示のうえ発注し、配合種子は受注者と協議のうえ決定する。
- ・ただし、バミューダグラスは暖地型芝草で、耐暑性に優れ、夏期の繁殖力が旺盛なため、夏期における早期緑化の種子として一般的に使用されている。このため、夏期の早期緑化が必要な現場においては、現場条件を考慮のうえ配合する種子を検討する。なお、施工時期、現場条件等（気象条件、法面条件等）により早期の発芽が期待出来ないなど、種子の変更で対応できない場合には、肥料袋付きの侵食防止用マット、植生マット工等の他の工法への変更を検討し現場条件にあった最適な工法を選定すること。

(3) 人工張芝、植生シート工、植生マット工

- ・植生シート、植生マット等の既製品は、概ね全ての製品でバミューダグラスが使用されているため、現場条件を考慮のうえバミューダグラスを含まない種子配合の製品、種子を使用しない在来種育成型の製品（侵食防止用マットを含む）又は張芝工、客土吹付工など、工法変更も含め検討を行い、最適な工法を選定し現場説明書に明示のうえ発注すること。